

第6章 業務継続計画の向上

1 業務継続計画の継続的な改善

業務継続計画の実効性を確認し、高めていくためには、研修や訓練の実施、点検・検証、計画の改定・見直しを繰り返していくことが重要である。訓練等を通じて明らかになった課題や改善点を元に、本計画を点検し、計画の改定・見直しを確実に反映させる。このようなサイクルを定着させ、継続的な計画の改善を行うものとする。



2 職員に対する研修・訓練等

業務継続計画を実効性のあるものとしていくため、職員を対象とした研修や訓練等を実施する。職員においては、本人及び家族の生命・身体の安全確保対策について平時から取り組み、非常時優先業務が遂行できる体制を整えるよう努めるとともに、本計画について十分理解し、災害時の役割を明確にする。

また、国内で大規模災害が発生した場合に応援職員を派遣し、経験を通して知見やノウハウを蓄積することも重要である。

3 指定管理者等への要請

町の施設や設備の管理等を行っている指定管理者や委託業者等についても、災害時に必要な措置がとれるよう連携を図り、協力を得られる体制づくりを推進する。